

インフルエンザ等の感染症対策について

○感染予防について

十分な睡眠と栄養の摂取、手洗い、マスクの着用、人ごみを避けるなど、感染予防のための基本的な予防行動を心がけてください。特にインフルエンザは、飛沫感染（咳やくしゃみでウイルスが2m～3m飛ぶ）のため、しっかりとマスクを装着して、「咳エチケット」を心がけてください。

★「咳エチケット」

- * 咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ少なくとも1m以上離れる。
 - * 鼻汁・痰などを含んだティッシュをすぐにゴミ箱に捨てられる環境を整える。
 - * 咳やくしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は直ちに洗うこと。
 - * 咳をしている人はマスクの着用をする。
- ※ マスクは正しい方法で着用する。口と鼻を注意深くマスクで覆い、顔とマスクの間のすきまを最小限にするようにぴったり装着する。マスクが湿ってきたら新しい乾燥したマスクと交換する。



○登校前の健康観察

登校前に発熱している場合や体調不良の場合には無理に登校せず自宅で療養してください。

○出席停止の措置

医療機関にて「インフルエンザ（疑いを含む）」と診断された場合は、出席停止の措置をとりますので、すみやかに学校へ連絡してください。「感染症疾患出席停止証明書」又は医療機関発行の証明書を病院で記入していただき、再登校の際に担任へご提出ください。なお、法令により、インフルエンザの出席停止期間は、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」となっています。下図を参考に必要な期間が経過するまでは、登校を控え、自宅で療養してください。

参考 「インフルエンザ出席停止期間早見表」

★ インフルエンザの出席停止期間の基準は「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」

		発症日 (0日目)	発症後 (1日目)	発症後 (2日目)	発症後 (3日目)	発症後 (4日目)	発症後 (5日目)	発症後5日を経過した後		
Aくん 	発症後1日目に解熱した	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	発症後 4日目	発症後 5日目	登校可能		
	出席停止	→								
Bくん 	発症後2日目に解熱した	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	発症後 5日目	登校可能		
	出席停止	→								
Cさん 	発症後3日目に解熱した	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校可能		
	出席停止	→								
Dさん 	発症後4日目に解熱した	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校可能	
	出席停止	→								
Eくん 	発症後5日目に解熱した	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校可能
	出席停止	→								

★ 発症した日からかぞえて、**最低6日間の出席停止が必要です**。その後は、解熱した日によって出席停止日が延長されます。

★ **発症日(当日0日目)**は、病院に受診した日ではなく、**インフルエンザ症状(発熱等)が始まった日**となります。